



伸びやかな歌声を披露する出演者たち（横浜市青葉区で）

## ホールに響く二重唱 横浜

65歳以上の音楽愛好家による発表会「65歳からのアートライフ」が22日、横浜市青葉区の区民文化センターフイリアホールで始まった。  
NPO法人「65歳からのアートライフ推進会議」の主催。23日まで行われ、この日は県内外の25組27人が自慢の喉を披露した。  
二重唱を響かせた横浜市港北区の若杉利子さん(90)と杉山昌子さん(88)は「音響のいいホールで熱唱すると、気持ちがいいし、気分が若返る」と笑顔を見せた。

## シニア まだまだ現役

まのまの@タウン

きた。激変の時代に生を営み多くの事を体験した」と語り、学生時代、事業経営し2冊

### 「歌うジジイたち」聴きに来て

来月3日川崎で

横浜市青葉区を拠点に活動しているシニアの男声合唱団「男のコーラス・ドッグウッド」が9月3日、JR川崎駅西口のミュージア川崎シンフォニーホール（川崎市幸区）で定期演奏会を開催する。

同合唱団は、声楽家の酒井沃子さんが開講した「男のコーラス講座」を母体に1989年に発足。現在は平均年齢77歳、最高齢96歳の62人がメンバーで、様々な合唱祭などに参加している。

オリジナル曲の「歌うジジイたち」や、昭和の歌謡曲、クラシック名曲メドレーなどを披露する。午後2時開演。入場料1000円（全席自由）。問い合わせは、オフィス・バルーン（045・901・9914）。